

まちが学び舎 Letter

“ふるさとから豊かな生き方を学ぶ”「ふるさと・キャリア教育プロジェクト」

2021. 6. 10

担当：学びの場クリエイター 西村



6月10日（木）

田ノ口小学校 3・4年生

「砂浜美術館・Tシャツデザイン」

黒潮町の全8小学校で、4年生を中心に2010年より継続している、NPO 砂浜美術館による出前授業。砂浜美術館の考え方を知り、Tシャツアート展の作品づくりをします。今回の先生は、塩崎草太さん。

前半のお話では、たくさんのいい言葉（気づき）と、ステキなまなざしがありました。

- ・「行ったことあるよ」「犬と遊ぶ」「砂像をつくる」「上手にできんけど」（砂浜の体験）
- ・「屋根がない」「屋根が空」（砂浜美術館・ふだんの砂浜の写真を見て）
- ・「鏡みたい」（砂浜に松原が写った写真）
- ・「クラゲみたい」「貝がらっぽい」「サクラみたい」（ハスノハカシパンの写真）
- ・「穴がある」「カニの穴？」「チンアナゴの穴？」「砂がぬれちょう」（雨の日の浜の写真）
- ・「風のあと」「波のあと」「山のかたちに見える」「八にも見える」（風紋と草の写真）
- ・「Tシャツが上向いちょう！風で！」「ひらひらしよう」「かかしみたい」（Tシャツが風に揺れている写真）

などなど、みんなの感性と楽しい表現に、私もとても楽しくなりました。



Tシャツアート展は外国でも開催しているよ

後半の作品づくりでは、描き始めると次々に発想がわいて、どんどんステキな絵に。みんなの描きたい気持ちがいっぱい、それぞれステキな作品でした。この日には完成しなかったけど、がんばって仕上げてくださいね！Tシャツになる時が楽しみです。



しっかり塩崎さんを見て



ステキなまなざし！



興味津々で、楽しく学べたね



「ふわふわ。ぬいぐるみみたい。」(綿をさわって)



「ちょっとサラサラ。綿とにってる。」



「砂浜やけん、はだしにした！」



「ぼくの高知と、コロナで大変な人がいっぱい東京と」「育ててみたい」「観察したい」と綿の苗も受け取りました



まちが学び舎 Letter

“ふるさとから豊かな生き方を学ぶ”「ふるさと・キャリア教育プロジェクト」

2021. 6. 15

担当：学びの場クリエイター 西村



6月11日（金）

南郷小学校 3・4年生

「砂浜美術館・Tシャツデザイン」

黒潮町の全8小学校で、4年生を中心に2010年より継続している、NPO 砂浜美術館による出前授業。砂浜美術館の考え方を知り、Tシャツアート展の作品づくりをします。今回の先生は、塩崎草太さん。



前半のお話では、みんなが海や砂浜での体験をいろいろと重ねていることを感じました。

（砂浜美術館の作品とは？見たことある？）

「砂像！」「砂で作ったクジラやイルカ」

「ウミガメ」「浮津で見たことある」（本物を見たことがあってすごいね！）

「らっきょう？！」（砂の写真を見てらっきょうを連想するのが、さすがです）

「クジラ！」「かわいい！」（写真ですぐにクジラと分かること、“かわいい”に、館長も喜んでいると思います）



何を描こうかなあ…（まようのも、大切な時間）

後半の作品づくりでは、最初は「何を描こうかなあ」と迷っていた人も、描き始めると次々に発想がわいて、どんどんステキなデザインに。描く・ぬる・切る・はるの中に、楽しい工夫がいっぱいありました。

「いいデザインが作れてよかった」「1つ1つに、気持ちをこめて描けた」「ぼくも、みんなも上手に描けてよかった」「みんなそれぞれちがって、先生も一緒に描けて楽しかった」「クレパスはひさしぶり」「新しいことができてよかった」

みんながそれぞれに、「いい作品ができた！」と思える時間になって、よかったですね☆



絵がどんどん変化して、カッコいいデザインに



「コロナでできんけん、手をつないでいる絵」



切ったところに、うらから紙をはる工夫☆



カメの写真をよく見て、まずは「ピンク色」！



え？！黒でぬりつぶすが？ これも工夫です☆



元気いっぱい！が、絵にあふれています



1つ1つに、気持ちをこめて



(青い布にデザイン) 新しいことができた！



イルカが海からジャンプ！水しぶきも描こう



こんなのもあったぞ… Tシャツアート展の風景



虹のむこうに雲をはったり。切りはりも楽しいね



クジラ、太陽、海… どんどんにぎやかに



Tシャツを、クジラも見に来たのかな？



らっきょうを 100 こ作る！！



Tシャツとぼくと。図鑑を見てリアルなカツオとイカも



先生たちの絵も、すごい！

まちが学び舎 Letter

“ふるさとから豊かな生き方を学ぶ”「ふるさと・キャリア教育プロジェクト」

2021. 6. 16

担当：学びの場クリエイター 西村



6月16日（水）

上川口小学校 4年生

「砂浜美術館・Tシャツデザイン」

黒潮町の全8小学校で、4年生を中心に2010年より継続している、NPO 砂浜美術館による出前授業。砂浜美術館の考え方を知り、Tシャツアート展の作品づくりをします。今回の先生は、塩崎草太さん。



前半のお話では、たくさんのいい言葉（気づき）と、ステキなまなざしがありました。

・「水の中からとったみたい！」「床が海」（水面に松原が写った写真。どのように撮影したかに興味津々）

・（あしあとの写真）「カメ？」「カメはちがうよ。つながったみたいになるから」

「鳥！」「ウサギ？」

・（ハマヒルガオ・雨の日の写真）「あさがお！」「すみれ？」「知っちゃおう」「見たことある」「雑草として」（「雑草」にもみんな名前がある…調べてみるとおもしろいかも！）

「日かげかな」「ちょっと暗い」「ぬれちょう」「雨がおちた」（色のちがいが、質感を感じられて、すごい！）

・（Tシャツの写真）「下からとった感じ」「風がふいちょう」「ひらひらしよう」「Tシャツ、飛んだことあるが？」（「風」を感じたね！）などなど、みんなの感性に、私もとても楽しくなりました。



聴く力、感じる力をつけて

後半の作品づくりでは、みんながそれぞれに熱中。手を動かすと、次々にアイデアがうかぶね。作品がどんどん変化しておもしろい！完成も楽しみにしています☆



わたの中には、種がある！



どんなかたちになるかな・・・



おもしろいかたちができた！（が、別のアイデアに）



真ん中にはろうかな…（その後、別のアイデアに）



ここをちょっと切って、開くと・・・



カラフルなスマイルでいっぱいになろう



「工作が好きやけん」（こまかい表現にびっくり！）



Tシャツの中にくじらを描こう

まちが学び舎 Letter

“ふるさとから豊かな生き方を学ぶ”「ふるさと・キャリア教育プロジェクト」

2021. 6. 22

担当：学びの場クリエイター 西村



6月17日（木）

拳ノ川小学校 3・4年生

「砂浜美術館・Tシャツデザイン」

黒潮町の全8小学校で、4年生を中心に2010年より継続している、NPO 砂浜美術館による出前授業。砂浜美術館の考え方を知り、Tシャツアート展の作品づくりをします。今回の先生は、塩崎草太さん。

前半のお話では、たくさんのいい言葉（感性）と、ステキなまなざしがありました。

・（砂浜美術館の作品とは？）

「砂」「海の中にいる生き物」

・（スナガニの写真を見て）

「砂の中におるから？」「色が砂や！」

「保護色ってやつ？」「見つけにくいかもね」

・（風紋とあしあとの写真）

「線みたいな、しまもようがある」

「海が少しずつあがってきた？」

「風がふいたとき（にできる）」

「太陽」「光」「かげ」

・（ヤシの実の写真）

「何これ?!」「玉ねぎ?」「栗?!」

「中にヤシジュースがあるかな」

「外国から流れてきた？」

などなど、みんなの感性と表現に、私もとても楽しくなりました。



クジラの大きさは…

後半の作品づくりでは、みんながそれぞれに自分の思いを絵や形に。切りはりで、デザインも工夫できましたね。一人ひとりが「最高の作品ができた!」と思えるのが、すばらしいです☆☆☆ 友達の作品のいいところを見つけられるのも、すばらしいです☆☆☆



好きなものいっぱい。「黑白町」のアイデアがすごい！



ヤイロチョウと巣箱と… タイトルもステキです



たくさん描いて、選んで。魚たちが楽しそう！



最高の作品ができた！！ 「白かばの木」もいいね



先生も、「子どもになって」のぴのび創作！



「うわ、すごいね。えいね～」



楽しい作品づくりになりました！



日本の向こう側の国とは・・・？

まちが学び舎 Letter

“ふるさとから豊かな生き方を学ぶ”「ふるさと・キャリア教育プロジェクト」

2021. 6. 22

担当：学びの場クリエイター 西村



6月17日（木）

入野小学校 4年生

「砂浜美術館・Tシャツデザイン」

黒潮町の全8小学校で、4年生を中心に2010年より継続している、NPO 砂浜美術館による出前授業。砂浜美術館の考え方を知り、Tシャツアート展の作品づくりをします。今回の先生は、塩崎草太さん。

前半のお話では、みんなの経験や興味を感じるつぶやきがいろいろとありました。

- ・（ウミガメの写真・見たことがある人も）
「ウミガメ！」「あしずり岬で見たよ」
- ・（砂の風紋とあしあとの写真）
「らっきょう？」（砂からの連想がさすが！）
「潮風でできた砂」（発想も表現もすごい！）
「あしあとは、ウサギ？」「鳥？」
- ・（ハスノハカシパンの写真）
「きのこ？」「え？かしパン？」
「ちっちゃい貝もいっぱい」
- ・（Tシャツが水面に映っている写真）
「鏡みたい！」（そう、水鏡と呼んでいます）



黙々と、それぞれが自分の作品づくりに没頭

「Will」をテーマにした作品づくりでは、それぞれが「伝えたいこと」を考えて、思いを絵や言葉で表現。絵を切ってはりながら、デザインも工夫できました。

最後の発表もすばらしかったです。

「タイトルは、『波のりらっきょう』黒潮町はらっきょうと入野の浜が有名だから、町を広めるために有名なものを合わせました」

「タイトルは『おやこのクジラ』青といえバクジラだと思って、クジラにしました」
みんなの作品の完成が楽しみです！



総合で調べ学習をしているグループは、話のメモを



絵と折り紙を組み合わせる



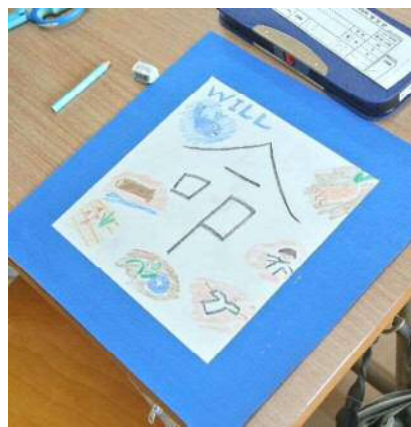
絵にストーリーがあって面白い！



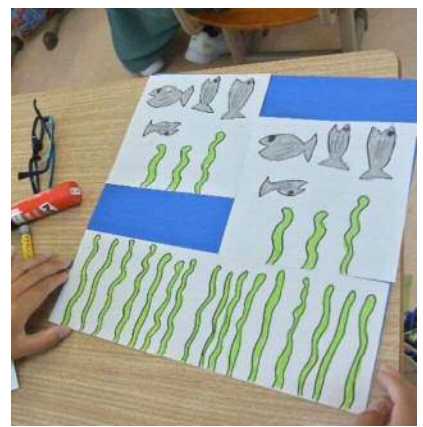
クレパスでぬって、指でこすって…



正面から見たクジラ！



いろいろな「命」を



重ねて描いた同じ絵を、どうはる？



『おやこのクジラ』 カラフルな色もいいですね！



『波のりらっきょう』 青い海にぴったり！

まちが学び舎 Letter

“ふるさとから豊かな生き方を学ぶ”「ふるさと・キャリア教育プロジェクト」

2021. 6. 28

担当：学びの場クリエイター 西村



6月28日（月）

佐賀小学校 4年生

「砂浜美術館・Tシャツデザイン」

黒潮町の全8小学校で、4年生を中心に2010年より継続している、NPO 砂浜美術館による出前授業。砂浜美術館の考え方を知り、Tシャツアート展の作品づくりをします。今回の先生は、塩崎草太さん。



前半のお話では、たくさんのいい言葉（気づき）と、ステキなまなざしがありました。

・（浜で何をすることがある？）「泳ぎに」「磯遊び」「シーグラスを拾う」「釣り」「ゴミを拾う」 さすが、海が身近なみんなですね！

・（朝日の写真、朝？夕方？）「朝！」「海の方から上がってくるみたい」「上の方が暗いから」「波が立っている」

・（風紋とあしあと等の写真）「作品が6こある」「葉っぱ」「砂に線がある」（波ではなく風が吹いてできたよ）「風の作品や」「あしあと」「鳥？」「葉っぱの影」

・（雨のハマヒルガオの写真）「砂の明るさがちがう。暗くなった」「穴があいている」「カニ？」「あさり？」「チンアナゴ？！」「雨か雪」「えー？！」と素直に感動を表せるみんなの、感性と楽しい表現に、私もとても楽しくなりました。



3年生が作品づくりを「見せてください」と

そして、後半の作品づくりは

「ワクワクしてきた」「みんな描くぞー！」の声の通り、作り始めると次々に発想がわいて、どんどんステキな絵・形・文字に。みんなのアイデアがいっぱいの、それぞれいい作品でした。3年生にも見てもらえてよかったですね。がんばって仕上げてくださいね！



本物の色じゃなくてもOK！



サッカーボールもカラフルに



好きな色を並べて名前を



一番のお気に入り、鳥！



ていねいに折り紙を折って…



この後もどんどん進化したね



お話の絵みたい！



イルカがおよぐ海の風景



後は切ってはれば、完成！



描いて、切って、はって。どんどんにぎやかに



最後にくらげが「親子」に！楽しいアイデア☆

まちが学び舎 Letter

“ふるさとから豊かな生き方を学ぶ”「ふるさと・キャリア教育プロジェクト」

2021.7.1

担当：学びの場クリエイター 西村



6月28日（月）

三浦小学校 4年生

「砂浜美術館・Tシャツデザイン」

黒潮町の全8小学校で、4年生を中心に2010年より継続している、NPO 砂浜美術館による出前授業。砂浜美術館の考え方を学び、Tシャツアート展の作品づくりをします。今回の先生は、塩崎草太さん。

前半のお話では、たくさんのいい言葉（気づき）と、ステキなまなざしがありました。

- ・「あ、分かった。砂浜じたいが全部美術館」
- ・「天井は？」「ない」「空」「めっちゃ高い」
- 「世界一大きい美術館」
- ・「水鏡の写真」「湖みたい」「どうやって撮ったのかな？」「長い棒にカメラにつけて？」
- ・「風紋とあしあとの写真」「らっきょう！」「あしあとはウサギ？鳥？」「鳥にしては小さいなあ」「しましまのもようもある」「風の！」「だれもふんでない」（シロチドリはふんだけどね）「草」「影」「影の反対に太陽がある」「風がふいたら草も変わるね」



・「雨の日のハマヒルガオの写真」「風かな…砂がでこぼこ」「色もちがう」「雨があたったところ！」「影はないな」「くもりやけん」
などなど、みんなの感性と表現に、私もとても楽しくなりました。

そして、“館長はニタリクジラ”を知った時の「いなくなったらつぶれる」「地球、よごれてきようもん」の言葉は、これまで10年の授業で初めて出会い、感動しました。

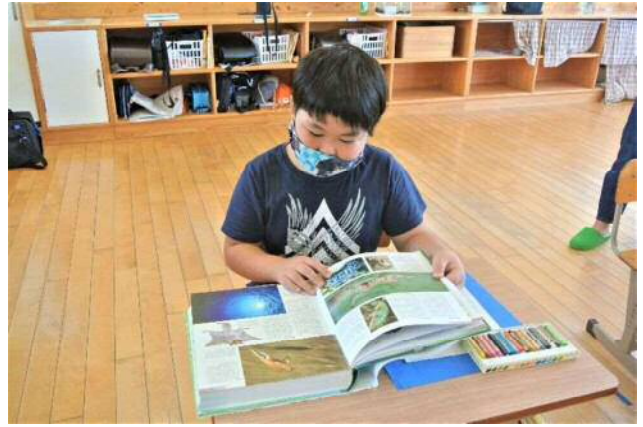
後半の作品づくりでは、3人がそれぞれに熱中。どうしよう？→こうやってみよう！と、次々にアイデアが生まれて、カタチになっていきましたね。完成も楽しみにしています☆



Tシャツアート展は、海外でも開催しているよ



図書室で描きたいものを考え中



何がいいかな～。まよう、まよう。



色がかっこいいから、このへびを描く！



黒で夜空を作って、花火をあげよう！



砂浜美術館の海の写真をよ～く見て…



雲は、どう描こうかな。ホンモノの雲を観察



ホンモノの雲をよ～く見て…



「砂浜美術館の発想がすごい。ぼくも発想できたらいい」
(みんなの発想、感性もすごい！)